

# グラフで見る関西経済(2022年12月)

2022年12月27日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

# 今月の景気判断 ~持ち直しの動きがみられる

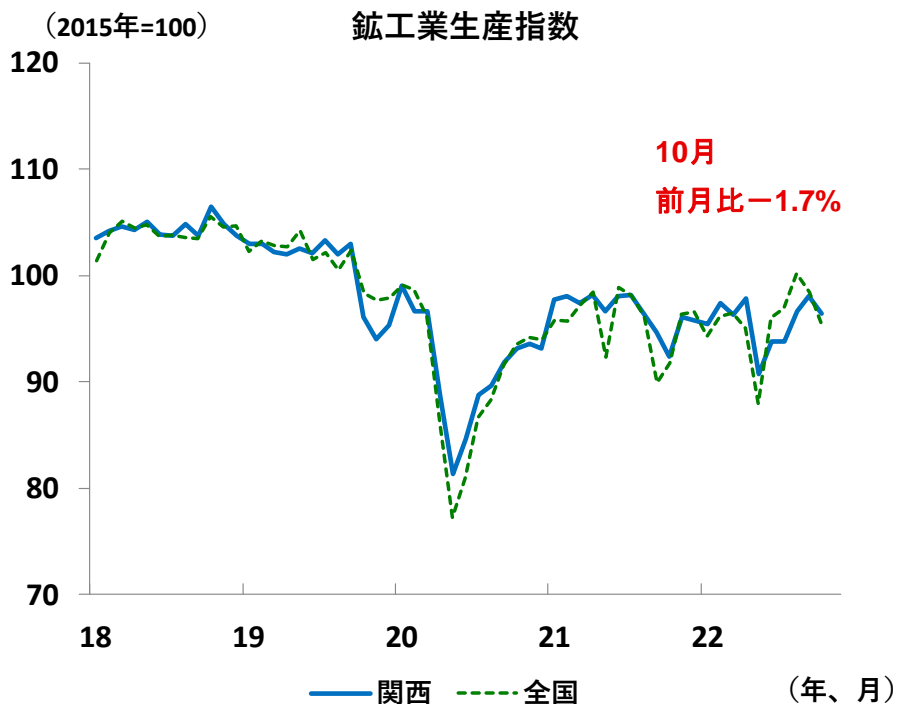
## 【今月のポイント】

- 関西経済は持ち直しの動きがみられる。
- 10月の鉱工業生産(関西)は前月比-1.7%と5カ月ぶりに減少したが、機械類を中心に基調としては持ち直しの動きがみられる
- 11月の実質輸出(季節調整値)は前月比-0.4%と3カ月振りに減少したが、基調としては持ち直しの動きがみられる。
- 個人消費は、物価上昇、コロナ感染の行方などが懸念されるが、感染拡大防止と経済活動の両立が図られる中で持ち直しの動きがみられる。
- 百貨店免税店売上は、入国制限の緩和もあってコロナ前(のピーク)の半分程度まで戻ってきている。

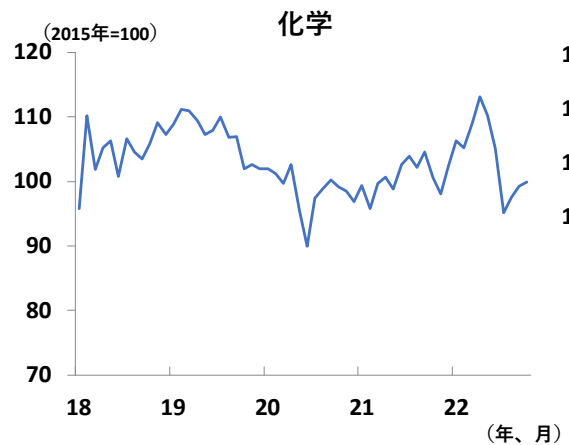
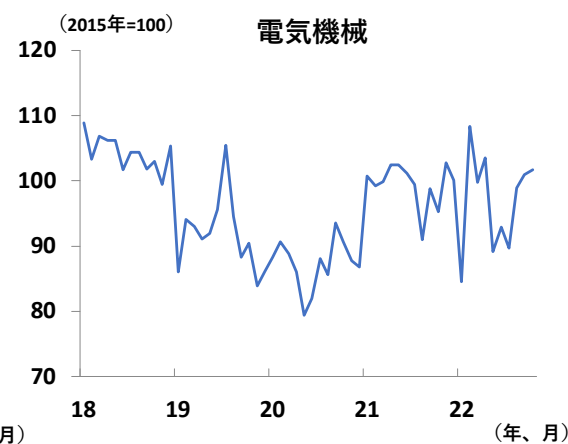
項目	現状
景気全般	持ち直しの動きがみられる
生産	持ち直しの動きがみられる
輸出	持ち直しの動きがみられる
設備投資	持ち直しの動きがみられる
雇用	持ち直しの動きがみられる
賃金	持ち直しの動きがみられる
個人消費	持ち直しの動きがみられる
住宅投資	横ばい圏で推移
公共投資	横ばい圏で推移

# 生産

10月の鉱工業生産(関西)は前月比-1.7%と5カ月ぶりに減少したが、総じて持ち直しの動きがみられる。業種別では、プラスチック製品、電子部品・デバイス、鉄鋼・非鉄金属などが減少した。

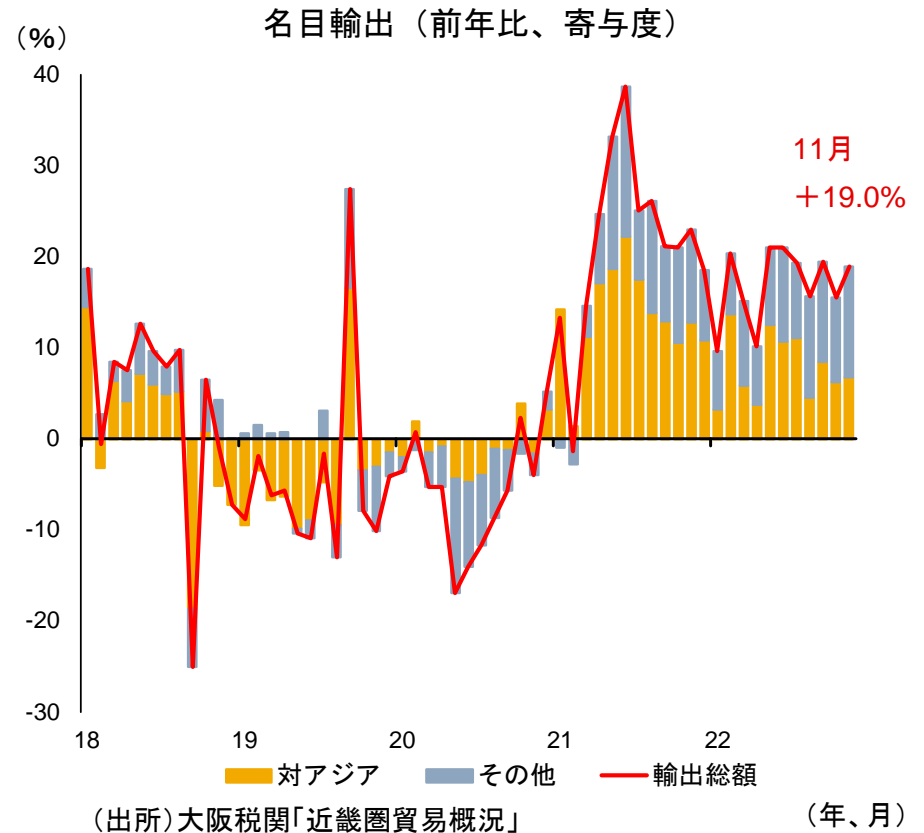
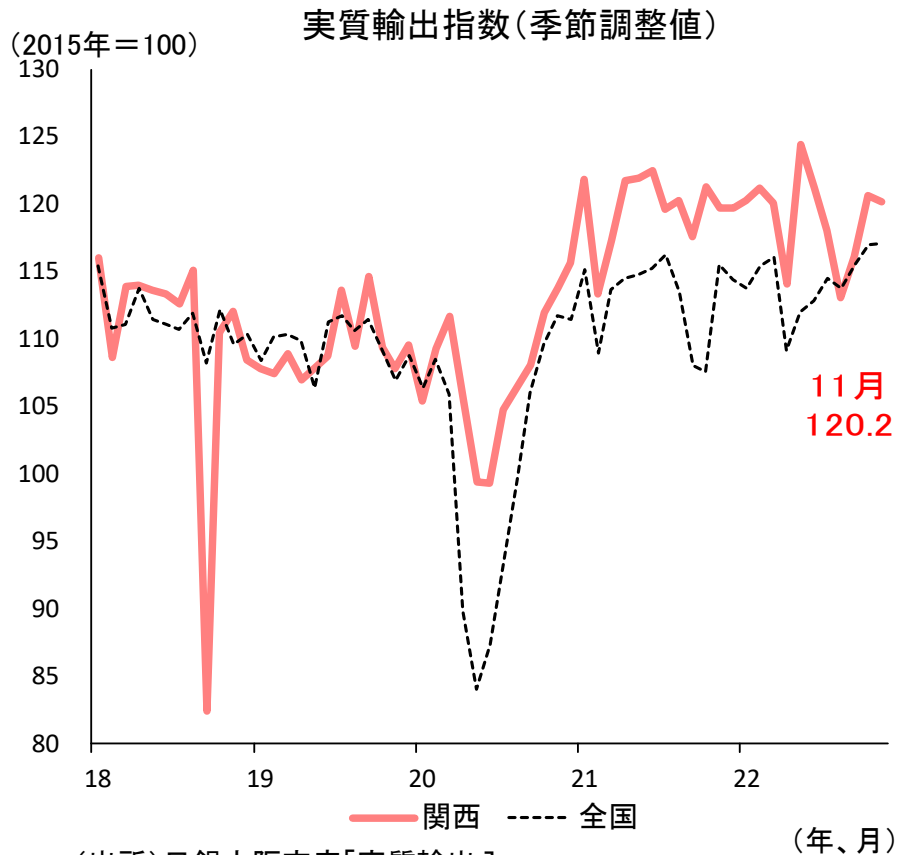


(出所)経済産業省「鉱工業生産動向」



# 輸出

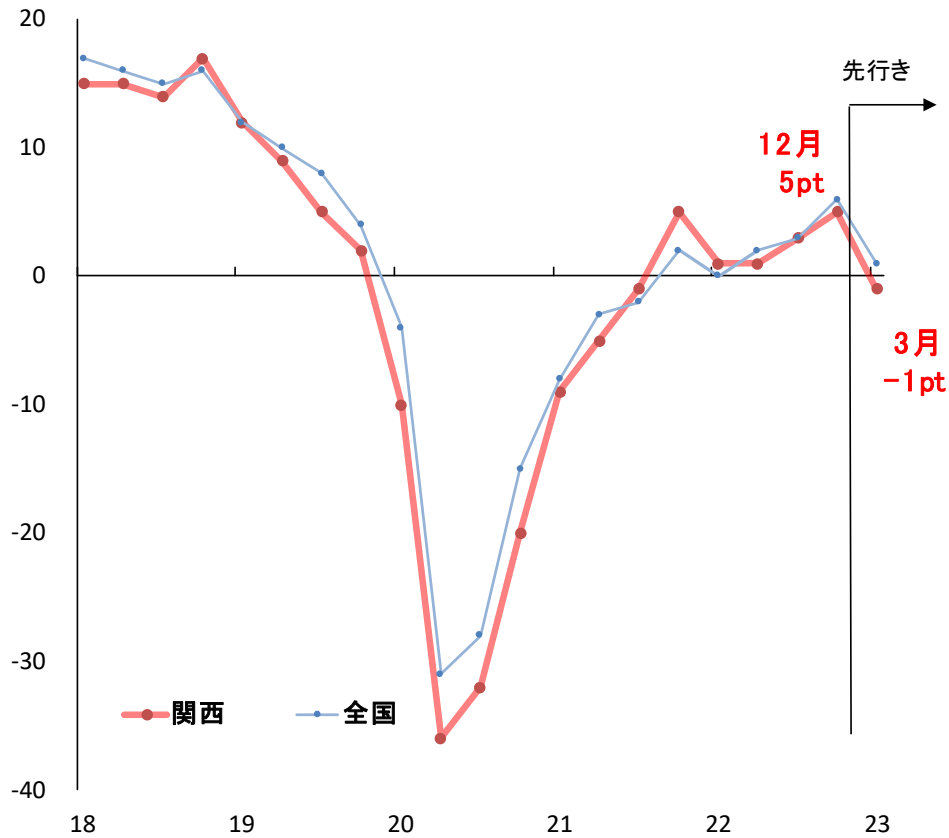
輸出は持ち直しの動きがみられるが、11月の実質輸出(季節調整値)は前月比-0.4%と3ヵ月振りに低下した。11月の名目輸出額は、円安による価格上昇の影響もあって前年比では+19.0%と21ヵ月連続で増加した。地域別ではアジア、米国、EUいずれも増加。品目別では建設用・鉱山用機械、医薬品などが増加した。



# 企業景況感(日銀短観)

日銀短観12月調査の業況判断DIは、全産業で+5ptと9月調査から改善。製造業は横ばい、非製造業は改善した。先行き(3月)については、製造業、非製造業ともに悪化が見込まれている。

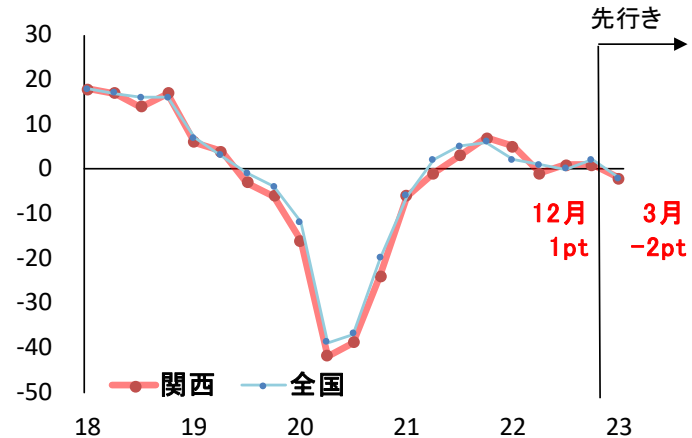
短観 業況判断DI「全産業」



(出所)日銀「短観」

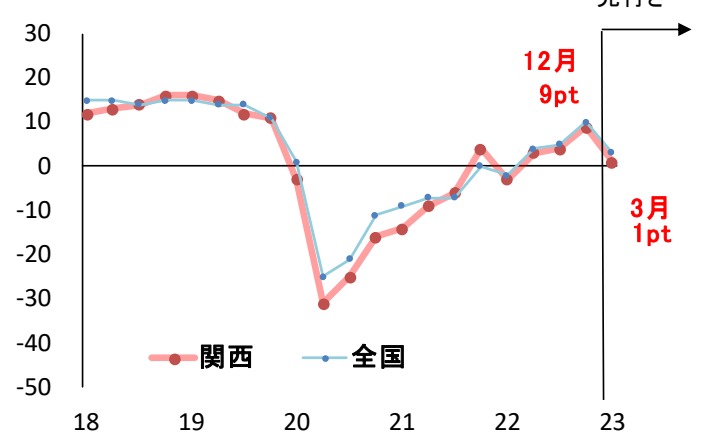
(年、四半期)

同 製造業



(出所)日銀「短観」

同 非製造業

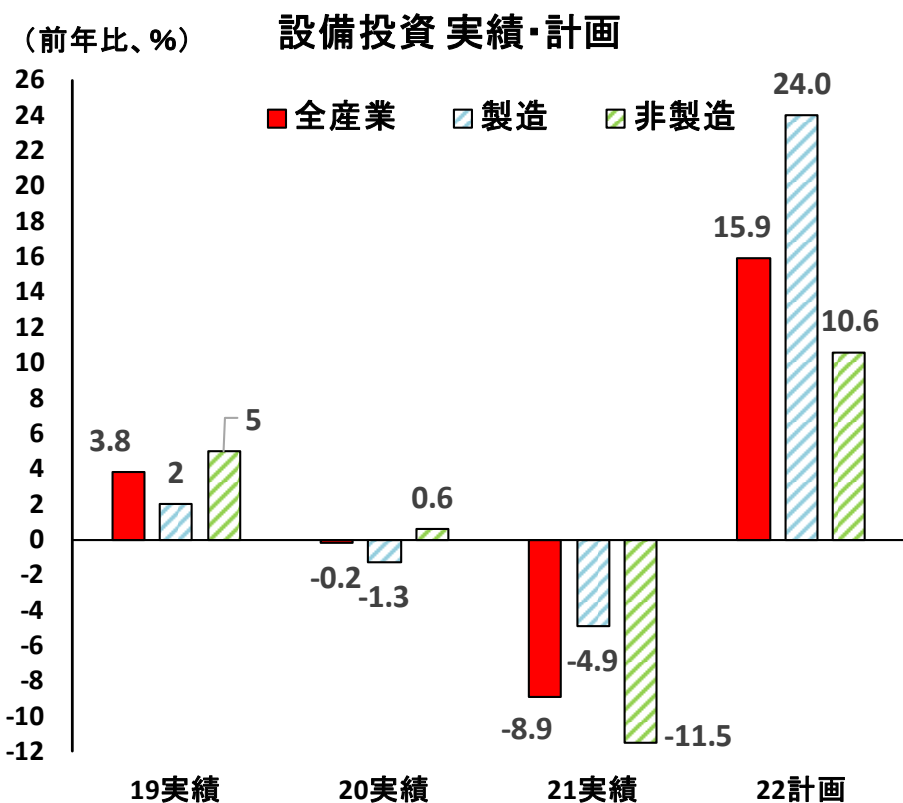


(出所)日銀「短観」

(年、四半期)

# 設備投資

日銀短観12月調査によると、22年度の設備投資計画は前年比+15.9%と9月調査から下方修正となったが引き続き増加を見込んでおり、持ち直しの動きがみられる。業種別の計画をみると、不動産が前年度比で大幅減となる一方、石油・石炭製品、鉄鋼、金属製品、建設、卸売などが大幅増を見込んでいる。



(出所)日銀大阪支店「短観」

(注)設備投資は、含む土地投資額

(年度)

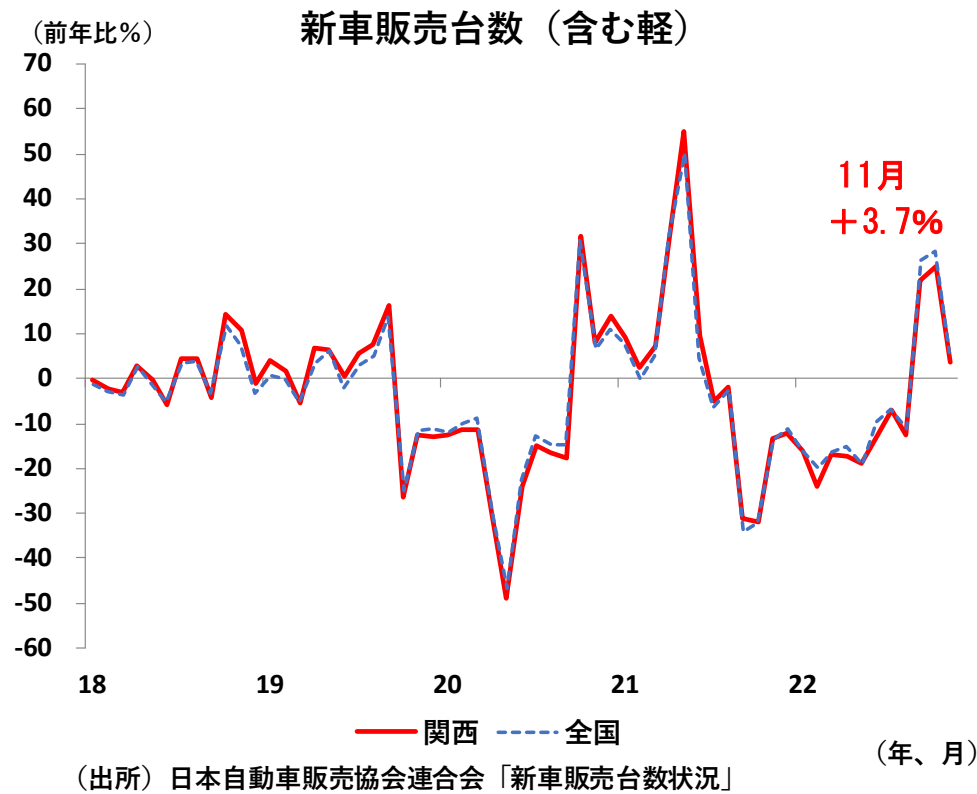
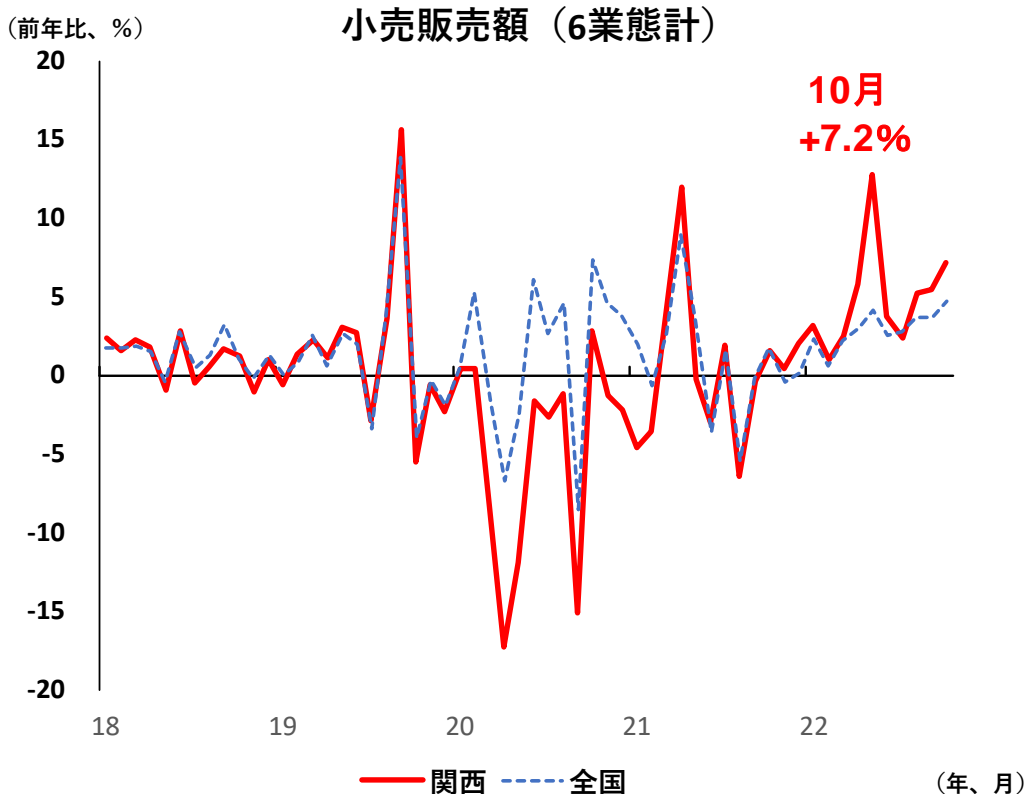
設備投資額(前年比%)

	21年度 実績	22年度計画	
		今回調査 ( 前回調査との 差異 )	前回調査
全産業	-8.9	15.9 ( -1.7 )	17.6
製造業	-4.9	24.0 ( -1.0 )	25.0
非製造業	-11.5	10.6 ( -2.1 )	12.7

## 個人消費(小売売上、自動車販売)

10月の小売販売額は前年比+7.2%と13カ月連続で増加した。先行きは、物価上昇、コロナ感染の行方などが懸念されるが、ウイズコロナの進展(定着)により持ち直しの動きが続くとみられる。

11月の新車販売は、前年比+3.7%の44,472台と3カ月連続で増加となった。半導体調達難で自動車生産の停滞が続いており、11月の水準としては高いものではない。



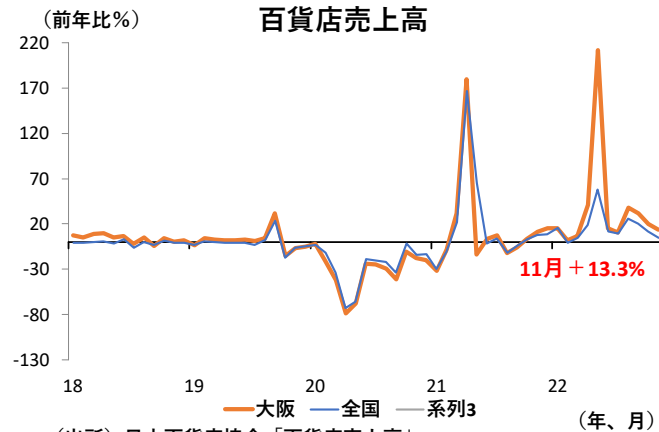
(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」  
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

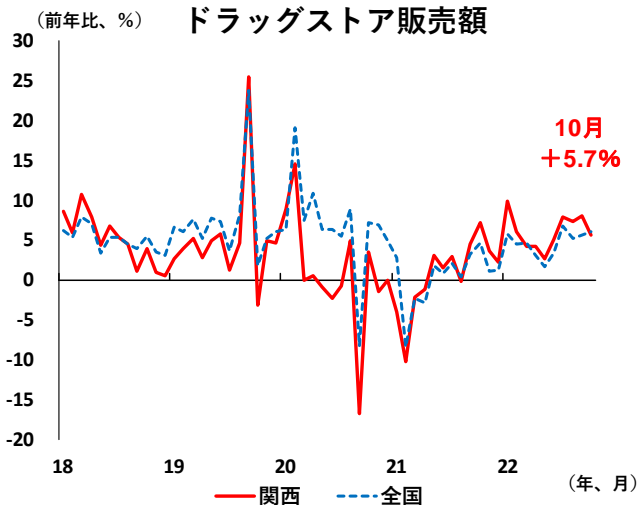
# 個人消費(業態別)

11月の百貨店売上(大阪)は前年比+13.3%と14ヵ月連続で増加した。京阪神百貨店免税売上は、入国制限の緩和もあって水準を上げてきており、11月は730.2とコロナ前のピーク(19年4月の1419.6)の半分程度まで戻している。

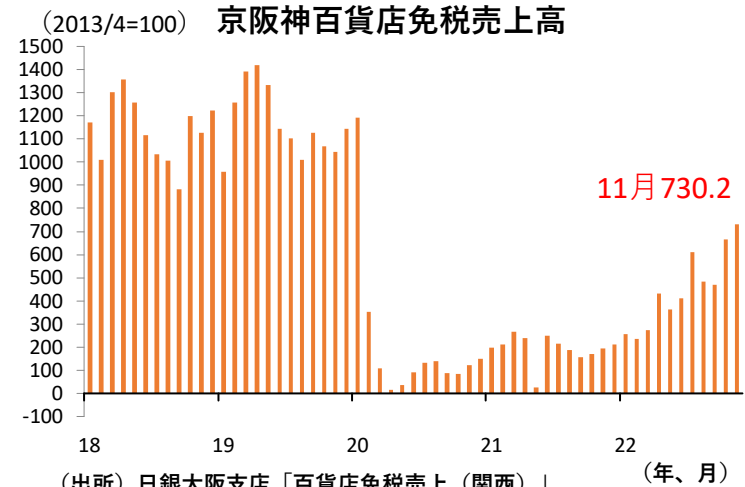


(出所) 日本百貨店協会「百貨店売上高」

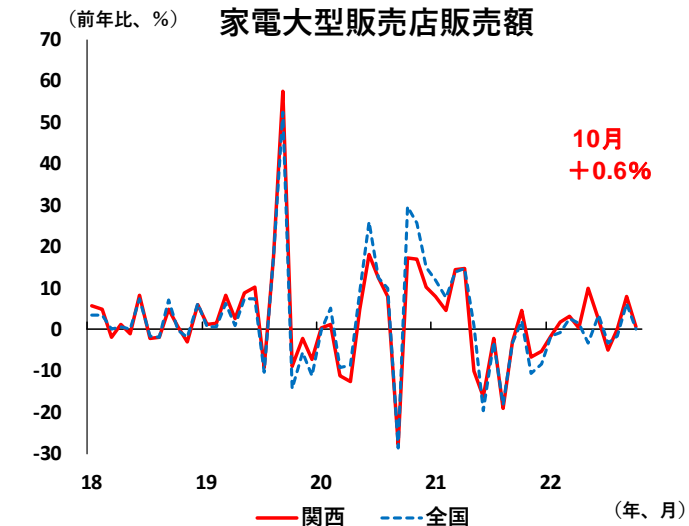
(注) 店舗調整後前年比



(出所) 経済産業省「商業動態統計」



(出所) 日銀大阪支店「百貨店免税売上(関西)」



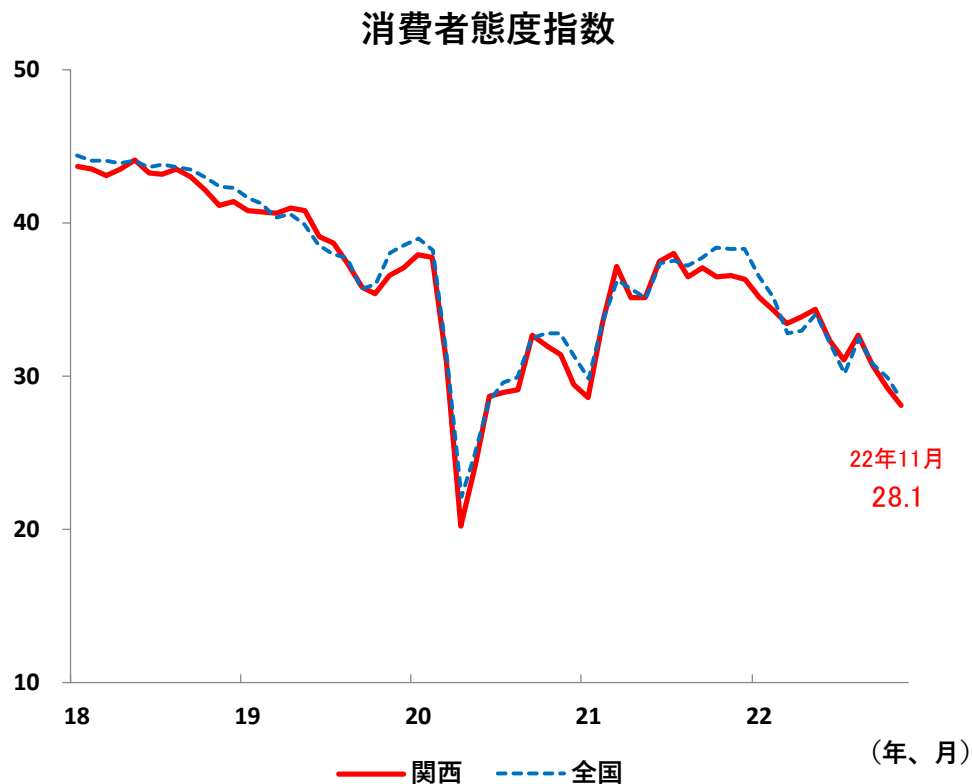
(出所) 経済産業省「商業動態統計」



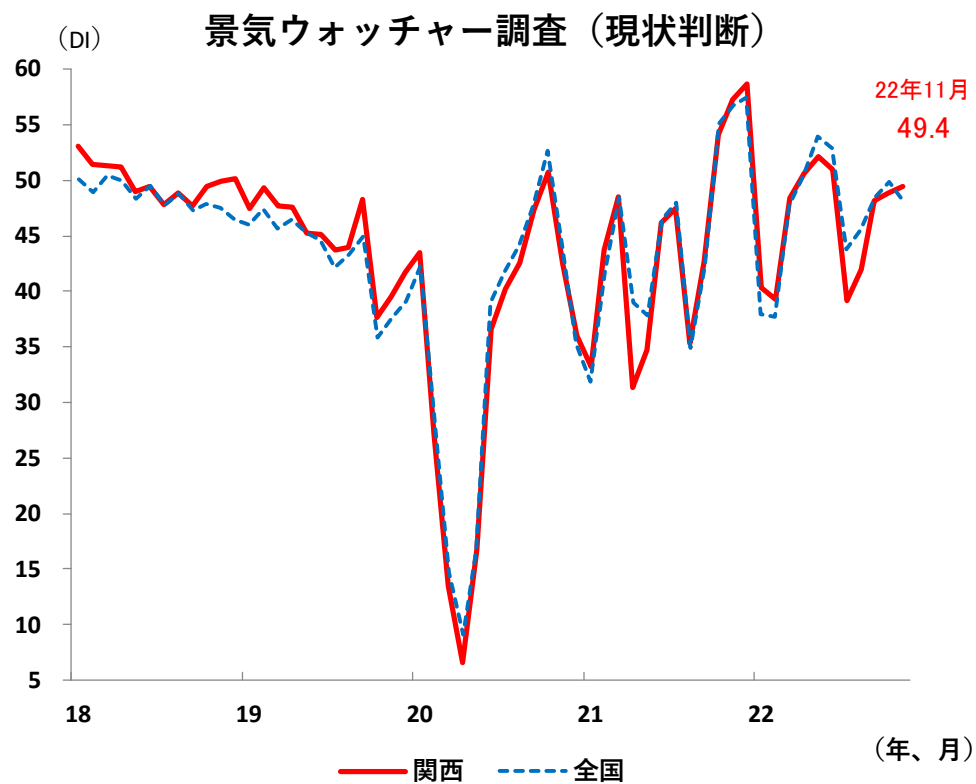
# マインド・景況感

11月の消費者態度指数(季節調整値)は28.1と3カ月連続で低下した。

11月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、49.4と4カ月連続で上昇。全国旅行支援、入国規制の緩和等により景況感が改善した。



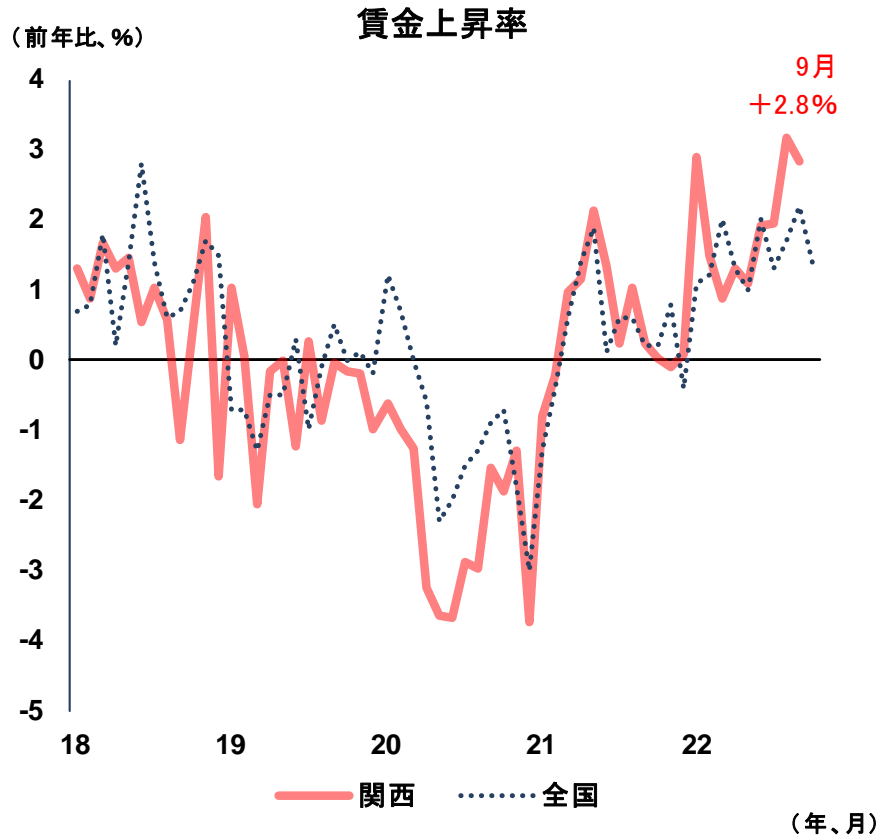
(注)関西の季節調整値はMURC試算  
(出所)内閣府「消費動向調査」



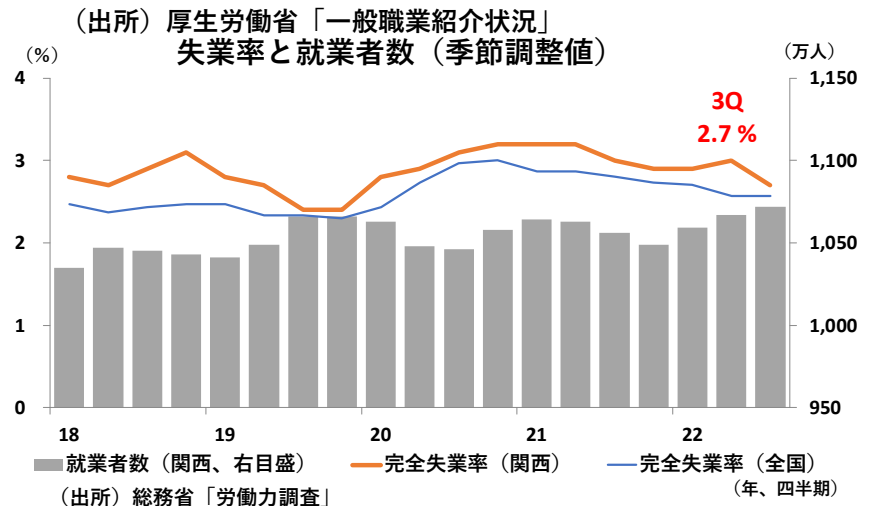
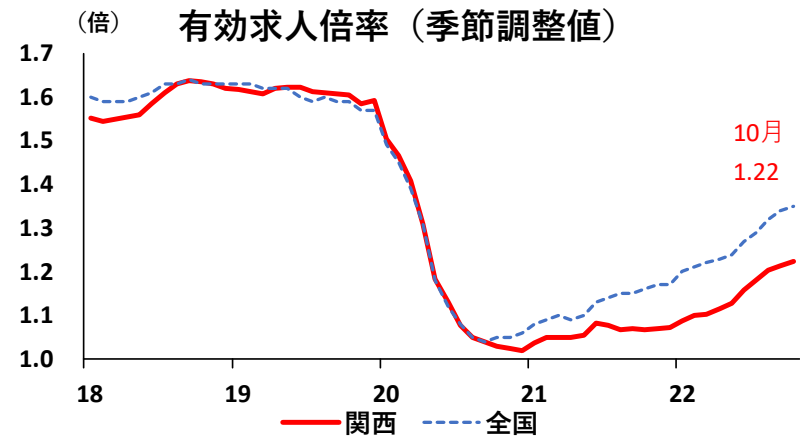
(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

# 賃金・雇用

9月の名目賃金指数は前年比+2.8%と9ヵ月連続で増加。コロナ前の2019年比でも+1.5%と増加。  
 10月の有効求人倍率は1.22倍と前月から小幅上昇。全国に比べ求職者数増加の度合いが高く、求人倍率は低めで推移している。22年7-9月期の失業率は2.7%と前期より低下、就業者数は増加した。

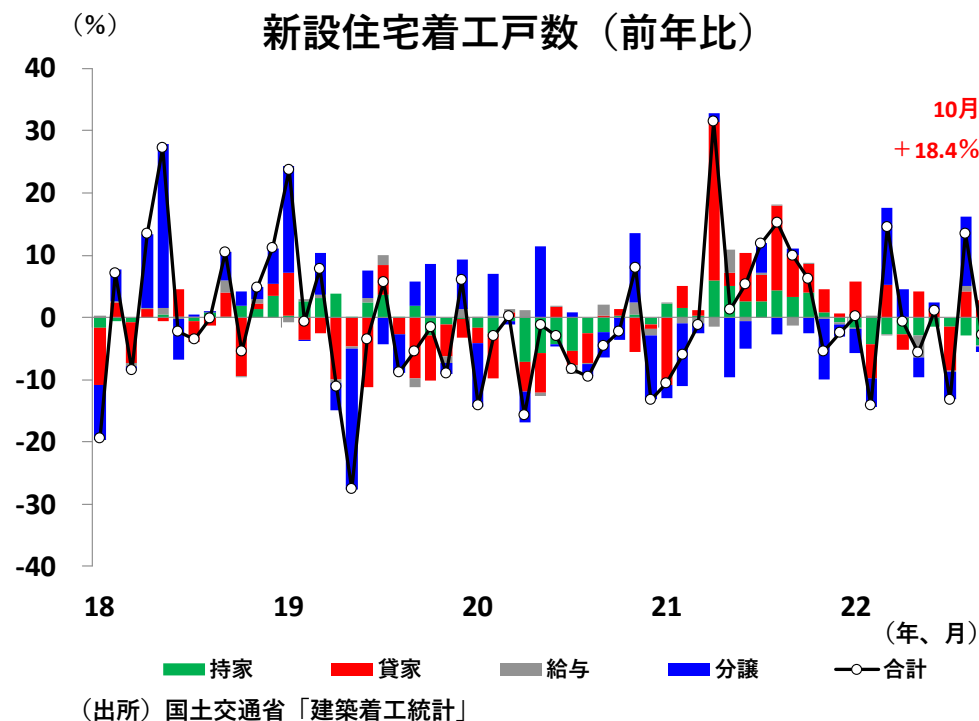
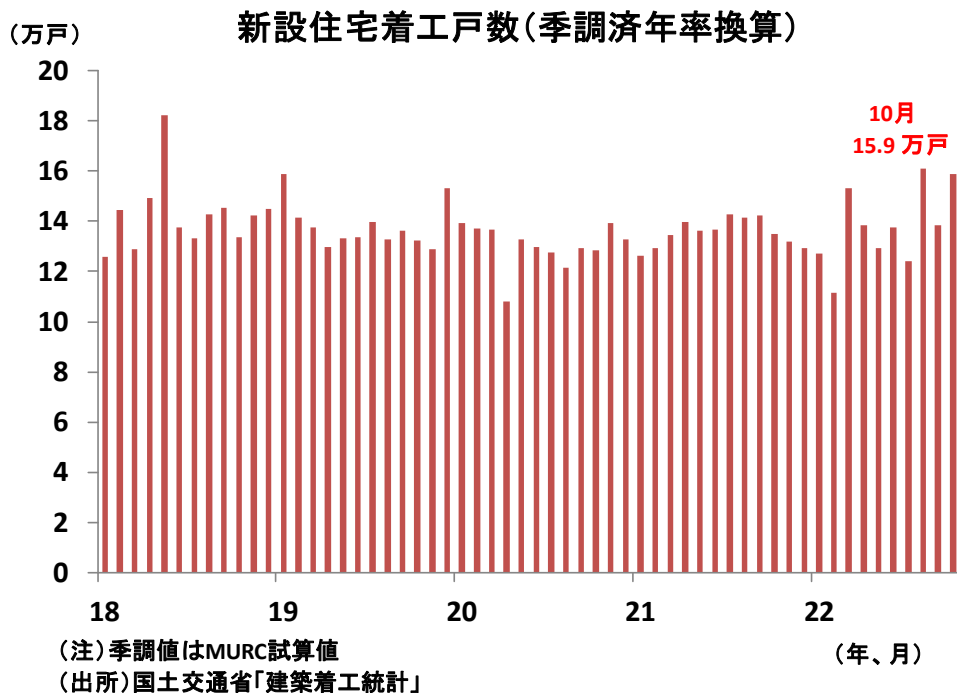


(注) 関西2府4県の名目賃金指数を常用労働者数で按分し合成したもの、MURC試算  
 (出所) 厚生労働省、各県「毎月勤労統計」



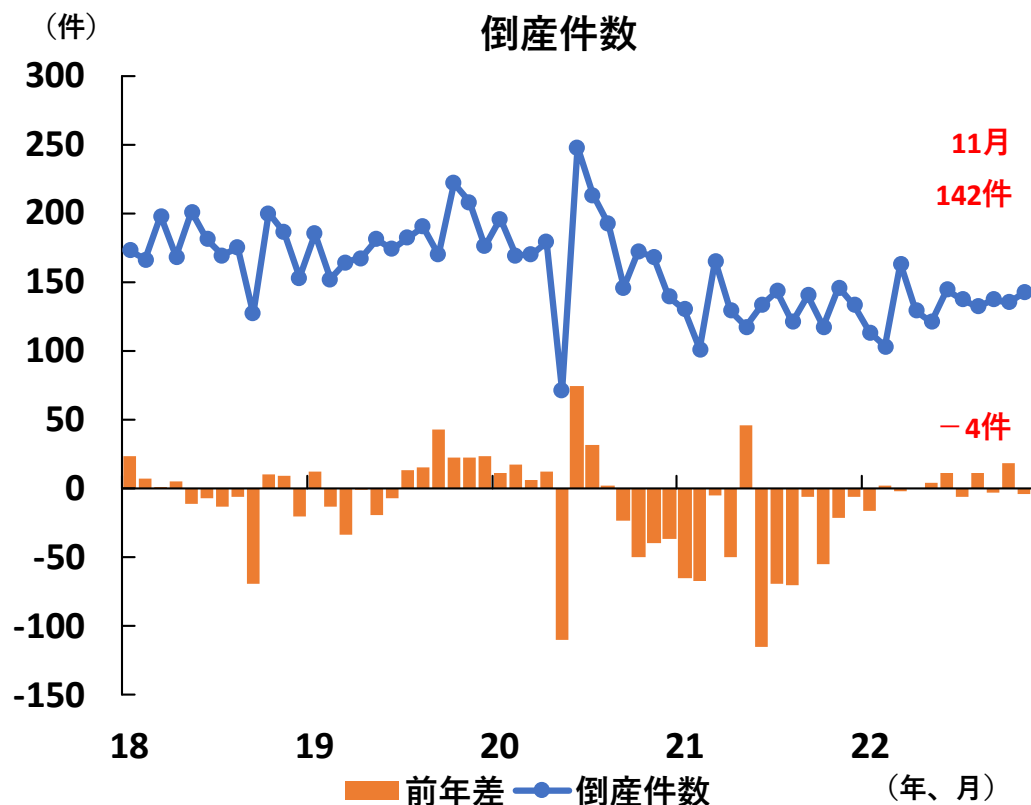
# 住宅投資

10月の住宅着工は季調・年率15.9万戸と2カ月ぶりに前月比で増加。均してみると横ばい圏で推移している。前年比では、持家の減少が続いているが貸家が大幅に増加し、全体で+18.4%の増加となった。



## 倒産

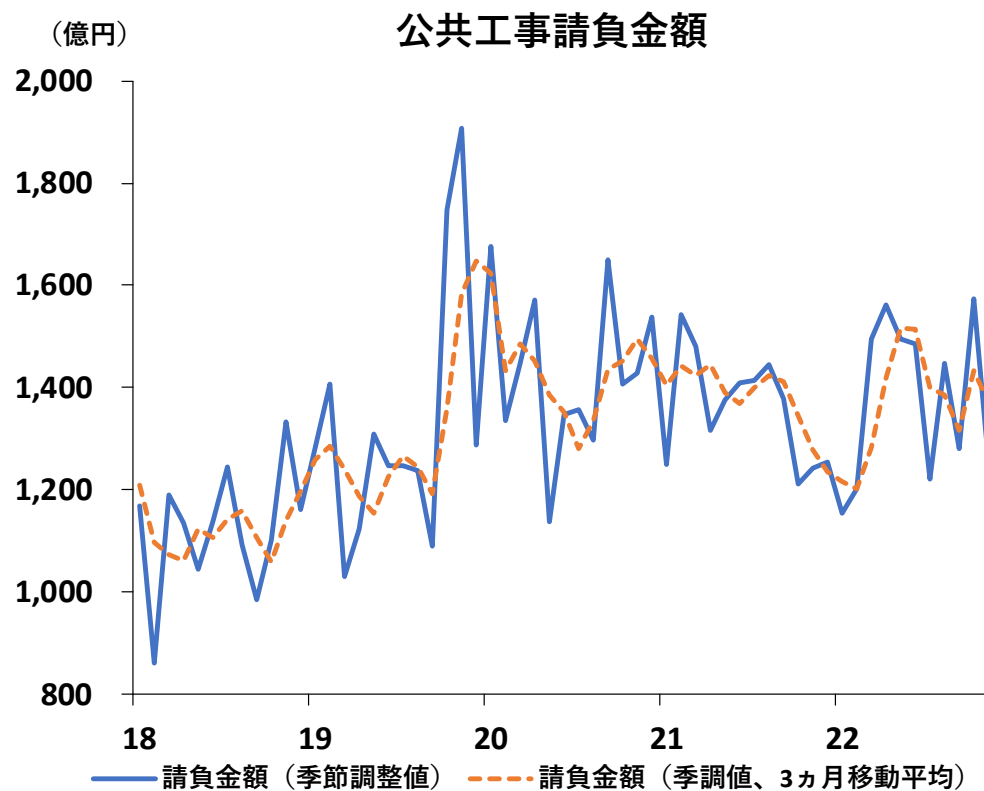
11月の倒産件数は142件と前年から4件減少、引き続き低水準で推移している。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

## 公共投資

10月の公共工事請負金額は、季節調整済前月比で減少。均してみると横ばい圏で推移している。



(注) 季調値はMURC試算

(年、月)

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください